結 ゆいっこ 盛岡新聞
ぼくらの復興支援 IWATE YUICCO
vol.7 発行日／2011.12.28
編集・発行／いわてゆいっこ盛岡
〒020-0866
岩手県盛岡市本宮 5-10-20-120 号棟
Tel：090-4476-7083
Mail…… morioka@yuicco.com
Blog …… http://yuicco.com
Twitter …… iwate_yuicco

## 活動報告

### OTASUKE BOYZ　宮古応援イベント　…11/28(月)～29(火) 宮古市

震災後、福島でイベント活動をしてきたOTASUKE BOYZ（東京、横浜在住）。紙芝居、即興弾き語りライブ、自由ペイントなどの活動を続けている。今回「東北でイベントをしたい」と思っていた彼らの思いが形となったワークショップ。そのお手伝いをさせてもらいました。

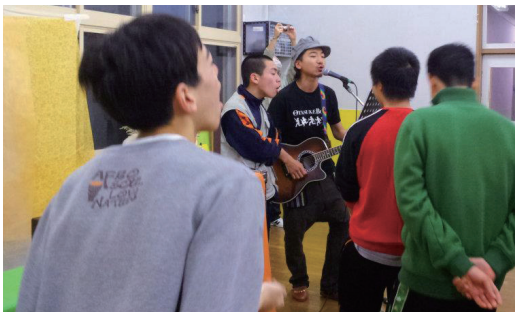
最初に向かったのは、宮古市田老にある田老児童館。ここに通っている、20名の元気いっぱいの子供達。まずは、即興の弾き語りがスタート。ギターが鳴り始めると自然と手拍子もはじまり、何が始まるのかドキドキしていた子供たちも緊張がほぐれてきた様子でした。場が盛り上がったところで今度は、紙芝居。OTASUKE BOYZのようちゃんが大泥棒になったり、カッパになったり、ジイ様になったり・・・、子供たちは次の展開がどうなるのか待ちきれず、身を乗り出していました。ようちゃんの声色を変えた進行に、子供たちも大ウケでした。そして次はお絵描きタイム。子供たちとコミュニケーションをとりながら、大きな用紙にクレヨンやOTASUKEのステッカーを使って、思い思いに描いてもらいました。始めは躊躇していた子供たちも、大好きな先生、好きなもの、キャラクターなどを、思いっきり描いていました。あっという間に真っ白だったスペースがカラフルな色で埋めつくされ、元気な子供たちを象徴するような素敵な用紙に変身しました。最後は、みんなで大合唱。子供たちが大好きな「アンパンマン」の歌、そして「上を向いて歩こう」。お手伝いに来てくれた宮古のお母さん、三浦さんも子供たちに負けないくらいの声で歌っていました。プレゼントと風船を配って、児童館をあとにしました。

▲紙芝居の中でキャラクターの七変化を披露する、OTASUKE BOYZのようちゃん。

▶お絵かきタイムではそれぞれの子供たちの個性が光っていました。カラフルな色合いで、パッと大きなお花が咲いたよう。

お昼は開店に向け目下準備中（修行中）というカフェスペースでパスタ、ホットサンドウィッチなどを頂きました。オープン、楽しみにしております。

そして午後は、はまゆり学園へと向かいました。ここは、知的障害者更生施設です。到着すると、学園の先生方をはじめ、園内のみんながお出迎えしてくださいました。なにか始まる雰囲気を感じとっていたのか、なんだか落ち着かない感じで、準備している最中も会場と教室を行ったり来たりしていました。上手くコミュニケーションを図れるのか、私達自身も緊張しましたが、ギターが鳴りだすと、音のマジックに一気にテンションは盛り上がりました。楽しくなってきてジャンプしたり、前に来て踊ったり、表現の仕方が素直で、私達もその姿をみて嬉しくなってしまいました。紙芝居になると、思わず内容にコメントしたり、大笑いしたり、とても楽しそうに見入っていました。お絵描きタイムもそれぞれの個性が光っていました。車の名前を書き続けたり、ゆいっこスタッフを描いてくれたり、「Thank you おたすけboyz」というコメントを見たときは、本当に嬉しくなりました。そんな中、歌が大好きな生徒さんの1人がマイクを握り、ショータイムが始まりました。SMAPメドレーから懐メロまで、あの時はスタッフのほうが盛り上がっていたかもしれません。サングラスをかけるとEXILEになったり、自在に使いこなしていました。その最中に、一度会場内からいなくたったと思ったら


▲ギターの弾き語りで、マイクの回りに集まってきた子供たち。リズムに合わせて楽しさを体一杯で表現してくれました。

▶「はまゆり」の子達が事前に作ってくれたウェルカムポスターが何枚も会場にあり、私達を出迎えてくれました。

ニット帽、口ひげ、ベストを着て、戦場カメラマンの渡部陽一さんになって登場。カメラを片手にスタッフの写真を撮ってくれました。終わりの即興ライブは会場が一体化して、ものすごいパワーを感じました。帰りには、先生方、夕飯の時間だった子供たちも食堂から手を振り、私達を最後まで見送ってくださいました。ありがとうございました。

一路盛岡へ向かい、ゆいっこメンバーと、震災当初からのお互いの活動から今までの事などを話ながら、鍋を囲みました。楽しい夜になりました。

2日目は、宮古の「かけあしの会」さんが、被災者支援で行っているアワビの貝磨きのようすや、会を立ち上げた菅原さんのインタビュー撮影に行って参りました。アワビの貝は、外側は藻などがついて石のようになっていますが、内側は七色に光っています。その七色に光る貝を、しずく型に切りピカピカに磨いて、アクセサリーやストラップにして販売されています。これが大変な作業で、デコボコしているうえに小さいため磨きにくいのです。光らない部分を取り除いた方が奇麗なのですが、あまり磨きすぎると薄くて割れてしまうので、商品にするのは至難の業。さらには、数をこなさなければいけない訳ですから、みなさんのパワーに驚きでした。私達も一緒に作業させて頂きましたが、茶色部分が取れて、七色に光ってくるのを見ると、達成感も湧いてきてひたすら磨きました。磨きすぎで薄くなってしまったOTASUKEのハリー、わざと茶色い部分を残してアートしてるあるいくん、一足先に穴あけ作業に進んだキム兄。なおきくんは、その様子や菅原さんのインタビューを撮っていました。

今回は、久しぶりに外部の方とのワークショップで、どうなるのか楽しみな反面、不安もありましたが、こういった支援の仕方も1つであると思いました。自分たちが得意とするもので、初対面同士のみなさんで一緒に楽しい時間を共有できる喜びは大きかったです。また今回の出会いをきっかけに、新年には宮古coop DORAにてOTASUKE BOYZのイベントが決定し、ライブペイント＆ライブ、そして餅つきなどが行われます。こうして気持ちが同じベクトルである、OTASUKE BOYZともつながりができたことは、私達にとっても励みとなりました。

## 田老ライブイベント …12/17(土) 宮古市田老

12月17日(土)、朝7時に盛岡を出発し、区界の路面が凍結する中、グリーンピア田老に到着しました。今回は、田老住民有志で結成された“田老、元気なまちづくりプロジェクト第1弾ライブ”による「明日に向かって」イベントのお手伝いです。内容は、会場設営、ステージの手伝い、音響のPAオペレーターなど。田老の住民の方々の演芸リハーサル、そして本日のメインゲスト「サスライメイカー」のリハーサルと、今日という日をすばらしいイベントにする為に、集中してリハーサルを進めました。ゆいっこ協賛で3台のバスが田老を周り、開場時間前には多くの住民の方が今か今かと待たれていました。

岩手県立宮古高等学校放送部員の二人＆ゆいっこメンバーJ君の3名での司会も準備が整い、満を持して開演致しました。『私達はこの震災で、本当に多くの大切なものを失いました。同時に、多くの大切なもの・ことがあるという事にも気付かされました。「つなみ」のお話の白いひげのおじいさんと同様に、震災後すぐに立ち上がってくれたサスライメイカーのような若者や外部のボランティアのみなさん、電気がなければご飯さえ炊けない自分達の目の前で、黙々と手足を動かし、綺麗な環境・おいしい手料理を作ってくれた人生の先輩達に、敬意の気持ちを表したいと思っています。 そして、引き継いでいく次の世代に気持ちをつなぐ為に、このイベントを企画しました。今日という日を作り上げるために動いて下さった皆さんに深く感謝致します。』実行委員長の黒田陽子さんの挨拶で幕が上がり、贈呈式に移りました。三陸大津波を題材にした「つなみ」絵本の収益を、作者である田畑ヨシさんより、東日本大震災支援基金に寄贈されました。そしてその後、大きなスクリーンで「つなみ」の読み聞かせが行われました。日本語に合わせて、英語訳も高校生によって読まれました。三陸大津波の描写と、今回の東日本大震災の経験者から聞いた体験とが、「つなみ」絵本により重なりました。

住民有志による演芸会は、「田老町民歌」、「千の風になって」、田老のさぶちゃんによる「山」、「花みずき」、「涙そうそう」、平内さんによるギター弾き語り、前向きな気持ちを描いた「上を向いて歩こう」ならぬ、「前を向いてあるこう」など、笑いあり、涙ありの見ていてとても楽しくなり、元気のでる演芸会でした。最後はこの日の為にかけつけてくれた「サスライメイカー」のライブでした。田老では2回目の演奏となり、全国発売となった「津波鎮魂の歌」など、心に響く歌から、手拍子で盛り上がれる歌まで、会場全体が一体感に包まれる最高の演奏をしてくれました。聞いているゆいっこメンバーもノリノリで楽しくなり、何よりも、笑顔のあふれる田老の方々の顔が目をつぶると思い出されます。

▲ライブで盛り上がる会場内の様子。ゆいっこ協賛のバスで沢山の方々が会場に足を運んでくださいました。

復興という特効薬はありませんが、被災地の方々が少しでも前を向いていられる様な、そんな空間作りを、これからもサポートしていきたい、と切に思った一日でした。

◀「サスライメイカー」によるライブは、会場が一体化し、ボルテージは最高でした。

## いわてゆいっこ盛岡　2011総括集会　…12/18(日) 盛岡市

12/18、『いわてゆいっこ盛岡 2011年総括集会』が開催されました。総勢12名のメンバー、宮古でお世話になっているコーディネーターの須賀原さん、そして三浦さんもわざわざ参加して下さいました。結成当初からのメンバー、活動途中から賛同してくれた主要メンバー、職業や年齢も様々ですが、「ゆいっこ盛岡」を愛してやまない人たちの集まりです。そんなメンバーが集まった総括集会ですが、代表の開会の言葉から始まり、9ヶ月間の活動の振り返り、今後の活動、意見交換等を行いました。活動の振り返りでは、メンバーのフレッシュが夜通しで作成したフィルムを観賞しました。「なつかし～!!」、「あっ、こんなこともやったね。」…と、会場中から思わず笑い声や感想が。懐かしい映像を見ていてふと気付いたのは、映っている人みんなが笑顔だったこと。現地の宮古の方々、活動に参加してくださった方々の笑顔は、私たちゆいっこスタッフにとって、とても大きなエネルギーになります。活動を続けてきて良かった、と改めて思いました。そして今後も皆さんと笑顔を共有できるよう頑張っていきたいと思います。今後のゆいっこ盛岡の活動としては、①内陸避難者向けの雪かきお手伝い②宮古での交流活動③各種イベント、などを計画しています。そして2012年は1月2日から活動をスタートします。最後に、参加者のこれまでの感想などを一部抜粋し、まとめました。

ゆっくり流れていた時間が突然コマ送りになった3月11日。余りの惨状に言葉もなく立ち竦む人々。でもすぐに人は動きだします。それは助かった命を生きなければならないからです。無我夢中の一年でした。終戦後のような風景の中で、多くの人と出逢い、人として議員として様々なことを学んだ一年でした。支えは皆さんの笑顔に秘めた優しさでした。誰かが自分を心配してくれている。それが心の支えになるのだと分かった一年でもありました。素敵な出逢いや嬉しかったことだけを覚えていて、あとはみんな忘れられた懇親会でした。ゆいっこの皆さんやボランティアの皆さん、お一人、お一人に心から感謝しています。支援を必要としている沢山の人と優しい人との手と手を繋げる、それが私の仕事です。素敵な出逢いになるように来年も頑張りますので、宜しくお願いします。　須賀原チエ子(宮古在住)

本当にあっという間に過ぎた9ヶ月。しかし、とても濃い9ヶ月。ゆいっこ盛岡のメンバーは本当に個性派揃い。一人ひとりがそれぞれの個性と能力を発揮し、それぞれの役割を担っているから、これまで現地の多種多様なニーズに応え、微力ではありますが、復興支援活動ができているのかなと思います。それを改めて実感できたのが、総括集会と懇親会でした。常に感謝の気持ちを忘れずに、これからも息の長い、顔の見える支援活動を仲間と共にやっていきたいと思います。　吉田けい子

この9ヶ月間は本当にあっという間に過ぎていきました。それだけ濃い時間を過ごさせて頂きました。多くの経験、心から尊敬できる方々との出会い、それら全てが僕の中で日々大きく成長しております。それにつられて自分自身も成長を続けていけたらな、と思います。ゆいっこ盛岡、そして多くの皆さん、出会いに感謝致します。　代表／藤原慧矢

3.11から約9ヶ月、震災前の自分を思い出しにくくなっている今日この頃、こうして普段共に活動をしてきたメンバーとゆっくり懇親できることに感謝致します。活動を振り返る映像を作成する為、過去写真を見ながら、当たり前ながら「現実感」を感じました。それほど3.11は私の人生に大きな転機となりました。2012年以降、どんな活動をしていくのか、現段階では霧中の部分も多いですが、楽しいメンバーと長い支援を目指し、これからも活動していきたいと、強く思います。　吉田光晴

はじめはどうしていいか分らず、物資提供という形で、直接支援することはありませんでした。ゆいっこに出会い、公園の清掃、側溝の泥かき、バザー等をして直接現地の方々との交流を通して、助け合うことの大切さを改めて学びました。これからも被災された復興者の一助になるような活動ができるよう、楽しく頑張ろうと思います。みんなが曇りない笑顔で笑いあえるその日まで。　長谷川裕一

もしかしたら巡り会わなかった人たちが同じ目的で出会い、仲間となり、ゆいっこ盛岡になりました。こんなに素晴らしい仲間と出会えて、生まれて初めて生きてて良かったなと思いました。出会ってしまいました、最高の仲間たちに。ゆいっこ最高です!!　佐藤大輔

震災2週間後に田老へ行き、自分の肌で感じたなんとも言えぬ心ふるえる寂しさ、また大切な家族や友人の温度を感じながら、抱き合って再会できた喜び…その全てが活動の始まりでした。つながりある場所が、見たこともない場所へと一瞬にして変わってしまい、大切な人達が悲しい思いをしました。気持ちだけで動いた当初でしたが、今はそれを共有し、復興の足掛かりになろうと動く仲間たち、お世話頂いている宮古の方々、岩手に留まらず沢山の人達と出会えたことが、目に見えない大きな宝物となりました。この9カ月の活動内で頂いたパワーは、今の私の生活に直結しています。同時に果たすべき役割があるのだと感じます。これからも「結」の名の通り、結びつきながら、例えそれが小さな取り組みだとしても、積み重ねをしていきたいと思います。　金城稔子

2011年、多くの方々のご支援、ご協力があって、ここまで活動を続けてこられました。本当にありがとうございました。2012年も「いわてゆいっこ盛岡」をどうぞよろしくお願い致します。

## 「あねさんショップ」開店祝い

…12/23(金･祝) 宮古市

以前から活動の内容をお伝えしておりました「あねさんショップ」が、この度、宮古市街地の一角(宮古市実田1丁目7-29)にオープンの運びとなりました。その名も『彩運』。ここには「あねさんショップ」とカフェが入っています。「あねさんショップ」には、ハギレを利用した和柄の可愛い商品がずらり。カフェは宮古の食材を利用したメニューで、特に、米粉で作ったクロワッサンが美味しかったです。これまでは、イベント等で出店する形でしたが、正式に店舗を構えることになりました。この日をご一緒にお祝いできたこと、大変嬉しく思っております。改めましておめでとうございます。宮古へ行った際にはぜひお立ち寄りください。

▲小物類から衣類までなんでも揃っております。鏡でチェックしながらお気に入りを探して見て下さい。

女性たちの癒しと小遣い稼ぎになればと思い始めたあねさん(宮古弁で女性のこと)ショップがこの度お店を構える事が出来ました。これは一重に生地を送ってくださった皆様と生地集めから販売まで協力くださったゆいっこ盛岡の方々のお陰と心より感謝しております。お店は実田地区の借家で「彩運」と言い、カフェと同居です。あの3.11の余りの惨状に何とかしたいと須賀原さんと共に始めた支援が、ゆいっこ盛岡の協力で物資や喪服の配布、そしてこの度の開店に繋がりました。これからもゆいっこ盛岡や地元の人たちと心を一つにし、皆さんに愛されるショップを目指しますので変わらぬご支援を宜しくお願い致します。

あねさんショップ
店長　三浦チヨ子

▲あねさんショップのメンバー。「彩運」へぜひ遊びにいらしてください。

## 会計報告

### 助成金が認可されました

今回また一つ助成金が認可されました。

赤い羽根「災害ボランティア･NPO活動サポート募金」助成事業

助成金／209万円

赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」(愛称：ボラサポ)は、「東日本大震災で被災された方たちを支えるボランティアやNPOの皆さんを応援したい！」と世界中から寄せられた“意思あるお金”です。募金の趣旨を踏まえ、よりいっそう気を引き締めて活動していきたいと思います。

## ＜着物生地＞　おゆずりください

宮古市の「あねさんショップ」では、着物のハギレを使って小物を作り販売しています。その材料である「絹」の着物生地のハギレ、反物、着物や帯のご寄附をお願いしています。美品であれば新品でなくとも結構です。おゆずりいただける方は、ゆいっこ盛岡までご連絡ください。

## 支援金をありがとうございました！

**【支援金総合計(12/23現在)】　¥1,101,925**

**【支援金をいただいた方(11/17～12/23)】**

小岩井クラフト市に参加された田老地区の皆様、もりアゲ↑マーケットにてフリマ出店･募金にご協力いただいた皆様、(株)ブーン 高品様と自力整体教室の生徒様･和田様ご夫妻･村田様･江花様･久保田様･結城様･高科様･大久保様･田上様･山崎様(いずれも東京都)、近藤様、松下かまぼこ店 松下様(熊本県)、舘鼻様(岩手県)

## 支援金募集しております

被災地への支援活動に使う支援金を随時募集しております。 無理のない範囲でご協力いただければと思います。
振込は下記口座までお願いします。

**◆岩手銀行　津志田支店**
店番／070　種目／**普通預金**
口座番号／2065288　口座名／**ゆいっこ盛岡支部**

**◆ゆうちょ銀行**
口座番号／6602251　記号番号／18350
口座名／**ゆいっこ盛岡支部**

**◆郵便振替**
番号／02200-1-110096　加入者／**ゆいっこ盛岡支部**

## 活動記録(11/17～12/23)

| 月 | 日(曜日) | 活動内容 |
|---|---|---|
| 11 | 20(日) | ●仮設住宅の縁台作り(宮古市高浜地区) |
| | 28(月)･29(火) | ●OTASUKE BOYZ 宮古応援イベントのサポート(宮古市　田老児童館・はまゆり学園) |
| 12 | 11(日) | ●仮設住宅の縁台作り(宮古市磯鶏地区) |
| | 17(土) | ●「明日に向かって」イベント手伝い(宮古市田老地区) |
| | 18(日) | ●2011年総括集会　●親睦会 |
| | 23(金･祝) | ●仮設住宅の縁台作り(宮古市上村地区)<br>●「あねさんショップ」開店祝い(宮古市) |

※「ゆいっこ盛岡新聞」は、いわてゆいっこ盛岡ホームページよりPDFでご覧いただけます。郵送をご希望の方は電話やメールにて事務局にお知らせください。

助成 日本財団 The Nippon Foundation

災害ボランティア･NPO活動 サポート募金

この事業は赤い羽根「災害ボランティア･NPO活動サポート募金」の助成を受け実施しています。